

編集後記

私にとって馴染み深いプラズマは太陽です。昨年9月には巨大太陽フレアが発生してニュースになりましたが、太陽表面では様々な美しい(でもX線や粒子線など人体には有害な)磁気プラズマ現象が起こっています。その物理に興味があり、私は太陽を研究しています。今回私が編集委員にお声掛けいただいたのは、前任・前々任の松岡先生・石田先生から、編委BPP(Basic Plasma Physics and New Trends)グループの中でX線天体、宇宙プラズマと引き継がれてきたから次は太陽ね、と言われたことがきっかけです。プラ核学会とは異分野だったのですが、せっかくなので太陽研究について皆さんに興味をもってもらう良い機会になればと思います。2年間務めさせていただきました。

太陽活動の源は核融合で、太陽プラズマは宇宙の実験室とも言われます。太陽研究者は太陽を見て理解しますが、実験室だと磁場を模擬してその場で計測できます。私の現職は宇宙天気予報で太陽フレアの予測ですが、前職では太

陽観測衛星「ひので」と実験室のコラボレーションの機会に恵まれました。若手中心の太陽と実験室の研究者がともに(寝泊まりし飲み会をし)試行錯誤しながら太陽ジェットと磁気リコネクションの実験に取り組みました。互いの理解に時間がかかることもありましたが、新鮮な感覚で、驚きとわくわくの連続だったのを覚えています。

今回編集委員会に参加してみて、BPPグループだけでも様々なプラズマに関連する分野の先生方が参加されていることを知りました。記事の企画案を見ると、初めて見る単語も多く苦勞もしましたが、新たな世界が広がるのも感じ、貴重な経験をさせていただきました。特にBPPグループ昨年主査の比村先生、副主査の八柳先生、今年副主査の石野先生、事務局の北澤さんには大変お世話になりました。また太陽の解説記事(2018年2月号, 12月号(予定))に興味をもってくださったのも嬉しかったです。まだご覧になっていない方は是非ご一読ください。(西塚直人)

プラズマ・核融合学会役員

会 長：吉田 善章 副会長：白谷 正治(推薦委員長：学会賞) 森 雅博(推薦委員長：研究助成, 男女共同参画委員長)
常務理事：下妻 隆(総務委員長)
理 事：浅野 克彦(財務委員長) 浅野 史朗 上田 良夫(年会運営委員長)
内野喜一郎(支部・地区研究連絡会委員長) 大野 哲靖 小野 靖
岸本 泰明(研究部会連絡委員長) 久保 博孝(広報委員長) 坂本 瑞樹(企画委員長)
神野 雅文 竹入 康彦 中井 光男
波多野雄治(編集委員長) 長谷川 晃
監 事：利根川 昭, 中村 圭二

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：波多野雄治(富山大) 副委員長：坂本瑞樹(筑波大)
エディタ：金子俊郎(東北大), 江尻 晶(東大), 中村祐司(京大), 城崎知至(広島大), 小西哲之(京大), 酒井 道(滋賀県立大)
編集委員：青木 順(阪大), 石野雅彦(量研), 伊藤篤史(核融合研), 伊庭野健造(阪大), 小倉浩一(量研), 荻野明久(静岡大), 尾崎 哲(核融合研), 加藤 進(産総研), 神吉隆司(海上保安大), 古閑一憲(九大), 小菅佑輔(九大), 佐々木徹(長岡技科大), 佐藤雅彦(核融合研), 染谷洋二(量研), 高橋裕己(核融合研), 高橋光俊(助川電気工業), 竹内 希(産総研), 龍野智哉(電通大), 西塚直人(NICT), 藤井恵介(京大), 星野一生(慶大), 三重野哲(静岡大理), 三沢達也(佐賀大), 村上朝之(成蹊大), 柳 長門(核融合研), 吉橋幸子(名大), 渡邊裕樹(首都大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第94巻第5号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2018年(平成30年)5月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。